

児童発達支援事業所

きぼうがおか 支援プログラム



法人理念

【基本理念】

私たちは、一人ひとりを、かけがえのない存在として、大切にします。

【事業理念】

私たちは、意欲のある人が、幸せを実感できる地域づくりを担います。

【行動理念】

私たちは、気配りを大切に、お互いが笑顔になれる活動を実践します。

【集団理念】

私たちは、一緒に働くことに感謝し、共に育ちあえる集団になります。



支援方針

「わくわくする。ぼくらのみらい」

というモットーのもと、障がいのある児童に「保育園・幼稚園」でもない「家庭」でもない、「子供たちの第三の居場所」を提供しています。



営業時間

開所時間	8:00～17:00	サービス提供時間	9:00～16:00
終日利用の場合		9:00～16:00	
午前のみ利用の場合		9:00～12:00	
午後のみ利用の場合		13:00～16:00	

- ・送迎あり
- ・午前のみ利用の場合は、園の給食の時間に併せて送迎を開始いたしますので、利用時間が短くなる場合があります。



きぼうがおかでは、5領域をねらいとした課題設定を行っています。

健康・生活

- 健康状態の維持・改善
- 生活習慣や生活リズムの形成
- 基本的生活スキルの獲得
- 生活におけるマネジメントスキルの育成

運動・感覚

- 姿勢と運動・動作の基本的技能の向上
- 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用
- 身体の移動能力の向上
- 保有する感覚の活用
- 感覚の特性への対応

認知・行動

- 認知の特性についての理解と対応
- 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得
- 行動障害への予防及び対応等

言語・コミュニケーション

- コミュニケーションの基礎的能力の向上
- 言語の受容と表出
- コミュニケーション手段の選択と活用
- 状況に応じたコミュニケーション

人間関係 社会性

- 情緒の安定
- 他者との関わり(人間関係)の形成
- 遊びを通じた社会性の発達
- 自己の理解と行動の調整
- 仲間づくりと集団への参加集団活動ゲーム、社会的スキルの訓練



健康・生活

○定期的な心身の把握
(毎回体温測定・気分把握)

○生活リズムの安定
(定期的かつ定時に通所)

○構造化を意識した部屋のレイアウト・掲示・支援
(視覚的に「何がどこにあるか」「どこで何をするか」を絵などを使い具体的に表示)

○SST、ABAなどによる身体的、精神的、社会的訓練



運動・感覚

- ・ストレッチ、ラジオ体操、軽い運動
- ・バランスボールでの姿勢保持
- ・音楽に合わせて体を動かす遊びや運動
- ・感覚過敏用のイヤーマフ配備など環境設定
- ・公園等の遊具を使用した粗大運動
- ・工作等の指先を使用する微細運動



認知・行動

- ・天気、気温、日付の把握と確認による感覚・数の認知形成

- ・1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成

- ・粘土、スライム等による物質の変化と感覚の認知形成

- ・ブロック遊びによる空間把握の認知形成

- ・小集団でのゲームでの適切な行動形成、認知の偏りの配慮

- ・感覚、認知の偏りに対するリフレーミング

- ・季節の変化への興味などの感性形成のための外出・行動



言語・ コミュニケーション

- ・はじまりの会で今日の気分・気持ちをプレゼンテーションして言語表出・受容
- ・終わりの会で活動振り返りと気持ちをプレゼンテーションして言語表出・受容
- ・個別または小集団での障害の特性に応じた読み書き



- ・ルールなどを絵や絵カードを使って視覚化
- ・絵本の読み聞かせ



人間関係・ 社会性

- ・アタッチメント形成(面談で自尊心を高める・認める)
- ・見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びの組み合わせ
- ・一人遊び、並行遊び、連合的な遊びの組み合わせ
- ・役割分担のある遊びなどの協同遊び
- ・ルールの理解が必要な遊びや集団活動
- ・イベントなどを通した地域との交流



家族支援

- アタッチメント(愛着)の安定のための支援をおこないま
- 家族(きょうだいを含む。)からの相談に対する適切な助言
- 障害の特性に配慮した家庭環境の整備児童の発達に関する相談・助言等



地域支援・地域連携

- 保育所や幼稚園・学校・医療機関等との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助等の取組
- 地域の公園等へ出かけて他児との交流
- 小学校入学に入学に向けての連絡調整、情報提供



職員の質の向上

- 事業所内研修・外部研修の派遣など
- 療育・制度、5領域等にかかる読み合わせ等
- 事例検討会の実施
- 専門職との意見交換

